

平田出張所便り

第32号(6月22日版)

オオキンケイギクをご存知ですか？

梅雨真ただ中のこの時期、河川堤防や道路の法面、住宅の庭先などで咲き誇る黄色い花をよく見かけます。これは**オオキンケイギク**と**特定外来生物**に指定されていて、取扱いに注意が必要な植物です。

オオキンケイギクは、5～7月に開花するキク科の多年草で、1880年代に緑化や観賞用として北米から移入されたものです。花びらの形が鶏のとさかに似ていることから「大金鶏菊」と命名されました。

一見可憐な花ですが、強い繁殖力で在来植物を駆逐してしまうため、生態系に重大な影響を及ぼす恐れがあるとして、**法律により栽培や運搬、販売などが禁止**されています。

庭や畑、花壇等で見かけた場合は、駆除（根っこから引き抜くことが望ましい）することが望ましいです。



詳細は図鑑等でご確認下さい

～ 担当者からのひとこと ～

斐伊川に於いては、現在のところ未だ一部の限られた区域のみで確認されていますが、できるだけ駆除する様にしています。